

第 23 回全港湾青年対策交流会議報告書

全港湾東北地方

塩釜支部 部長 菊池勇哉

新型コロナの影響で 3 年ぶりに、愛知県豊橋市で青年対策交流集会が開催されました。全国規模の青年・人部の集まりという事で少し緊張しましたが、楽しく交流しながら 3 日間過ごすことが出来ました。

1 日目には、全港湾中央本部から鈴木誠一執行委員長に【全港湾の歴史】について講座を受けました。1945 年から始まり日本は戦後大変な中、労働組合が結成されどのようにして組織が出来上がったのかを知れてとても勉強になりました。それと、日々組合活動をしていると団結という言葉をよく口にすることが有りますが講座を受け改めて団結の意味や大切さなどを知ることが出来ました。【国結権、団体交渉権、団体行動権】 日本国感法にある全港湾最大の力を武器になる、これから 2023 春開もすぐ始まるので今回教わったことを胸に頑張っていきたいと思いました。

次に、全国港湾の真島執行委員長に【原子力発電建設阻止行動】について講座を受けました。実際に委員長自身が行った体験談だったり熱い思いを聞き、みんなと団結して一つの物を勝ち取る大切さなどを学びとても勉強になりました。

次にキャラバンなどについての分散会です。やっぱり原発に関して危険、無くした

方がいいと言う意見がみんな一致していました。東日本大震災で福島やひたちの仲間たちそしてその大切な家族が大変な思いをして日々生活していた！また同じ思いを仲間や大切な家族から出さない様にみんなで一致団結して「原発反対」を訴えていきたいと思いました。

最後になりますがこの3日間とても勉強になりましたし、たくさん交流も出来たのでとても楽しかったです。ありがとうございました。